

# 原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2008年3月16日 No.36

原爆症  
認定制度

## 青年と被爆者が渋谷でアピール

全国 15 地裁 6 高裁で争われている原爆症認定集団訴訟を支援する青年たちが 3 月 15 日、渋谷ハチ公前と NHK 並木通りで原告をはじめ被爆者の方々と宣伝行動を行いました。

「ぶっちゃけ、原爆のコト知らなくね？いらねーよ核兵器、認めろよ原爆症。」と銘打った横断幕を掲げ、折り鶴でデコレーションした宣伝カーから、東京の被爆者団体である東友会会長の飯田マリ子さん、3・1ピクニデーに参加したエジプト人留学生のエシーバ・ムハンマドさん、東京訴訟原告の田崎アイ子さん、ボーカリストの形岡七恵さんら、被爆者と青年、支援者らが交互にマイクを握り訴えました。また、「被爆者に春を！」というチラシにチョコレートを入れて配ると、用意した 300 個があつという間になりました。



「青いタスキは 63 年前の原爆投下から生き延びた被爆者で、白いタスキをかけている人は原爆症認定訴訟の原告です。この機会にぜひ話を聞いてみて下さい」と司会が呼びかけるとあちこちで対話に花が咲きました。

「原爆症認定制度の抜本改定を求める緊急 100 万人署名」は 2 時間で 300 筆以上集まり、被爆者のみなさんからは「こんなに反応がいいとは思わなかった。本当に嬉しい」と声があがりました。

### ピース・ライブペインティングに次々協力



NHK 裏の並木通りに場所を移してからは、平和カフェを開催。ここでも「原爆と人間展」パネルを展示し、真っ白い横断幕に平和のメッセージを書いてもらう「ピース・ライブペインティング」を行いました。これには年齢・性別・国籍問わず、道行く人が腰を下ろして書いてくれました。書き終わるとインスタントカメラで写真を撮らせてもらうようお願いすると、50 人以上の人が協力してくれました。「緊急 100 万人署名」はここ

でも引き続き取り組み、合計 469 筆の署名が寄せられました。

## 3月議会、各地で非核日本宣言求める意見書採択

昨年 4 月、日本原水協と非核の政府を求める会とが各界の広範な人々と提唱した「非核日本宣言」運動は市町村長 359 名、議長 250 名、併せて 609 名から支持・賛同が寄せられ(1804 自治体中)、132 議会が日本政府に対する意見書決議を採択しています。

### 被爆地広島で初の意見書採択

広島県豊田郡大崎上島町議会は 3 月 17 日、地方自治法第 99 条の規定により、「非核日本宣言」を求める意見書を議決し、福田康夫内閣総理大臣に送付しました。